

# 2024年度 祥明大學校 交換留学報告書

文学部 英語英米文学科 小野あや香

私は、2024年3月から同年12月まで韓国の祥明大學校に交換留学を行いました。この報告書では、韓国での生活の様子をお伝えします。皆さんが韓国留学に興味を持つきっかけや、留学に対する不安解消になれば嬉しいです。

まず、私が留学に至った経緯は、大学入学と同時に学び始めた韓国語をより実践的に使いたいと思ったこと、大学で専攻している異文化コミュニケーション学の理解に役立つと考えたことです。実際に留学をして、私はこの二つの目的を達成した成果を深く実感しています。留学前は、TOPIK4級を持っていましたが、留学終盤に韓国で受験したTOPIKでは高い点数で6級を取得することができました。留学を迷われている方は前向きに検討することをお勧めします！

## ① 寮について

女子の寮は、新館と旧館に分かれています。私は、前期・後期共に旧館を利用しました。1学期は、旧館か新館かを選ぶことができませんでしたが、2学期は選ぶことができました。旧館は、3階まで部屋があり、全部屋2人部屋です。各部屋に、シューズロッカー、クローゼット、机、引き出し、ベッド、エアコン、暖房器具が備え付けられています。そのほかのものは各自で揃える必要があるため、ハンガー、洗濯かごなどは日本から持っていか韓国で買うかになります。学校の近くにダイソーがあるので、ほとんどダイソーで買い揃えることができます。旧館は、共同トイレ・共同シャワーです。トイレは数が多く掃除も毎日していただきます。シャワー室は、時間によっては他の人と一緒に使うことになります。大きな仕切りなどがいないため、最初は気を遣いましたが、慣れると気にせずに入れるようになりました。シャワーは、時間の制限などなくいつでも自由に入ることができます。寮には、洗濯機、乾燥機もあります。洗濯機、乾燥機どちらも1回1,200ウォンで利用することができます。決済には、専用のアプリを利用します。このアプリは、外国人登録証がないと認証できず使えません。そのため、外国人登録証ができるまでは寮の管理人さんに現金を渡し、代わりにアプリで決済を行ってもらったり、学校外のコインランドリーに行ったりしていました。旧館は、洗濯物を干す場所もあるので天気の良い日は干すことが多かったです。梅雨の時期や冬は、乾燥機を使う人が多く、順番待ちの状態になることも多々ありました。洗濯機・乾燥機は各階に何台ずつあるのですが、自分の住んでいる階のものが埋まっている場合は、他の階のものを使うこともできます。共同スペースには、電子レンジ、浄水器、電話ボックスもあり、どれも自由に使うことができます。電話ボックスは、電話をする際に使う空間で、電話機はありません。部屋にルームメ

イトがいるときなどは、電話ボックスで電話をすることができます。

寮の門限は、前期も後期も 24 時でした。申請をすれば、深夜 1 時まで延長できますが、韓国人学生はアプリからできる申請が留学生はできないため、直接寮の管理室まで言いに行くか、カトクなどを使って申請しなければいけません。寮では何か困ったことがあると、寮の管理人さんがとても親切に助けてくださいます。困ったことがあれば、頼ってみるのもよいと思います！



↑電話ボックス



↑寮のベッド



↑正門の桜

## ② 授業について

授業は、前期・後期ともに 5 個ずつ授業を聞いていました。韓国の大学の授業申請は、完全先着順のため、学生はみんな申請開始の時間に合わせて一斉にサイトにアクセスします。前期は、韓国人学生より授業申請の時期が遅れたため、残っている授業の中から選択するというような状態でした。さらに、前期は留学生が少なかったため、留学生用授業が開講されないということを知りました。私は、事前にどのような授業があるか見ながら、留学生用授業をメインに取ろうと思っていたので、時間割の組み直しに少し時間がかかりました。結局、前期は「日本語フリートーキング」「日本人の感性と思想」「日韓比較文化」「TOEIC」「グローバル時代の社会と地域文化」の 5 個の授業を聞きました。「日本語フリートーキング」の授業は、主に日本語を使って行われる授業なので、日本に関心の高い学生が集まっていて、グループで話し合いを行う授業なので、友達を作りやすいです。「日本人の感性と思想」「日韓比較文化」は日本語学専攻の専門授業です。日本人以外の視点から見た日本を知ることができ、新しい発見も多いです。「TOEIC」は、他にとる授業がなかったため取った授業ですが、韓国語で英語を学ぶというのは新鮮な体験でした。授業は、教科書に沿って進むので、特に難しいと感じることはなかったです。「グローバル時代の社会と地域文化」は、主に 1 年生が聞く授業です。2 週ごとに教授が変わり、6 か国の国について学びます。今までほとんど触れたことのなかったドイツやフランスについて学べたのはとてもよかったなと思います。後期は、「対話と自己表現」「日本大衆文化」「日韓関係史」「韓国語学の理解」「グローバル時代の人文学」の 5 つの授業を取りまし

た。「対話と自己表現」は、留学生用の授業で韓国人学生は一人もいません。年度によって変わることはと思いますが、私が受けたときは、留学生の間で韓国語力に大きなばらつきがありました。TOPIK4 級程度を持っていれば問題なく聞ける授業だと思います。「日本大衆文化」「日韓関係史」は、日本語学専攻の授業です。教授が、日本語が上手で授業中もよく気にかけてくださいます。「韓国語学の理解」は、韓国語学専攻の授業で、韓国語の音声学や文章の成分などを学びます。授業のスピードがやや早めであるうえに内容が非常に難しく、試験には苦戦しました。最後の授業では、グループでの発表がありました。資料調査、資料作り、発表の3つの担当に分かれて活動し、私は発表を担当したのですが、教授も学生も真摯に私の言葉に耳を傾けてくれているのが伝わり嬉しかったです。「グローバル時代の人文学」は、一週目は授業で習う内容に関する映画を見て、二週目に、パワーポイントを使った授業が行われます。映画を韓国語で見るのは難しい部分もありましたが、毎回自分がどのくらい理解できるか試す気持ちで見えていました。試験は、記述式だったので学んだことを上手に文章にまとめることができるよう意識しながら試験勉強に取り組みました。

### ③ 夏休みについて

夏休みは学校の寮を出なければいけないため、日本に帰国するか、韓国で生活するかの2択のなると思います。私は、2週間弱日本に帰国し、その後はソウルのシェアハウスで過ごしました。シェアハウスといっても、住人同士の会話はほとんどなく、その点は期待外れではありましたが、親切な家主さんのおかげで特に不便のない生活を送ることができました。家を探す際は、家探しのサイトを使い、大家さんに連絡を取りました。その後、一度内見し、入居という流れでした。私は、夏休みの間、日韓交流会のスタッフとしての活動に力を入れていました。夏休みになにか一つ留学だからこその経験をしたと思い探したところ、日本人の方が開いている日韓交流会を見つけたため、スタッフとして応募しました。交流会では、テーマを決めてpptを作成し、そのpptに沿って進行します。国籍、性別、年代、言語能力がさまざまな人みんなを楽しませることができテーマや進行に最初は苦戦しましたが、回を重ねるごとに自分でも成長しているのを感じることができました。また、自身が中心となって進行するという事で自然と話す機会も増え、韓国語力も伸ばすことができた実感しています。スタッフ同士の仲もよく、ワーホリで来ている日本人の子と友達になりソウルに行った際に泊めてもらったり、韓国人・日本人のスタッフみんなでお出かけや旅行にも行ったりと貴重な思い出ができました。さまざまな年代の方と関わることは自身の成長のためにもとてもよかったと感じているので夏休みに何をするか迷ったときは、このような過ごし方も考えてみるとよいと思います。

↓交流会のスタッフと済州島旅行（左）

↓交流会で行った誕生日パーティ（右）



#### ④ お金

留学で不安の大きい要素の一つが費用についてだと思います。私は、月7万円の奨学金を受けながら生活をしていました。奨学金は日本の口座に振り込まれるので、wiseというアプリを使って日本の口座から韓国の口座に送金していました。私が留学していた時は、為替レートがよくなかったため、奨学金だけで生活するのは非常に困難でした。特に、私は夏休みにソウルでシェアハウスに住んでいたため、その家賃や友達と遊ぶ際の交際費、日本に一時帰国するための飛行機代など、夏休みは特に出費が多かったです。また2学期も、残り少ない韓国での学生生活を楽しまたいという思いから、友達とよくご飯を食べに出かけていたため出費は月7万を上回っていましたが、その分は自身の貯金を使って生活をしていました。私は、韓国に住んでいる間は、やりたいことをやろうと決めて留学生活を過ごしていたのであまり節約などは意識せずにお金を使っていましたが、自炊ができないことや夏休みに家を借りたことなどで予想以上に多額の出費が多いです。留学を楽しまたい人は、少しでも多く貯金をしていくことをお勧めします！

#### まとめ

長くなってしまいましたが、ここまで読んでいただきありがとうございました。留学では、韓国語での授業や友達との会話についていけずに、悔しい思いをすることや、今までとは違う環境や文化の中で生活することに対するストレスもありました。しかし、大変なこと以上に、憧れていた韓国で留学生活を送ることができる喜びや、国境を越えた友達がたくさんできたこと、韓国に住んでいるからこそできた経験などが記憶に残っています。

もし留学に行くことを悩んでいる人がいれば私が答えられることはすべて答えるので、ぜひ相談してください。

